

「Excel で学ぶ確率論」正誤表

新納浩幸

- 2006/11/20 6ヶ所の正誤を追加しました。
- 2006/10/25 3ヶ所の正誤を追加しました。
- 2006/10/10 2ヶ所の正誤を追加しました。

p.28 順列の定義式

誤

$${}_n P_r = \frac{n!}{r!}$$

正

$${}_n P_r = \frac{n!}{(n-r)!}$$

p.57 上から 7 行目

誤 解いています。

正 問いています。

p.57 上から 11 行目の数式 (2006/10/10)

誤

$$p_n = \frac{{}_{365}P_n}{365^n} = \frac{365 \times 354 \times \cdots \times (365 - (n - 2)) \times (365 - (n - 1))}{365^n}$$

正

$$P_n = \frac{{}_{365}P_n}{365^n} = \frac{365 \times 364 \times \cdots \times (365 - (n - 2)) \times (365 - (n - 1))}{365^n}$$

p.57 上から 13 行目

誤 $P_n \geq 0.5$ を満たす最小の n

正 $P_n \geq 0.5$ を満たす最大の n

p.57 下から 11,10 行目

誤 -0.693 よりも小さな値になる最初の n が求める答えになります。

正 -0.693 よりも小さな値になる最初の n から 1 を引いた値が求める答えになります。

p.58 下から 5 行目

誤 この問題の余事象

正 この問題の対偶

p.74 上から 11 行目の数式 (2006/10/10)

誤

$$P(X_a|Y) = \frac{P(X_a)P(Y|X_a)}{\sum_{i=a,b,c} P(X_i)P(Y|X_i)}$$

正

$$P(X_a|Y) = \frac{P(X_a)P(Y|X_a)}{\sum_{i=a,b,c} P(X_i)P(Y|X_i)}$$

p.118 上から 4 行目 (2006/10/25)

誤 $g(X)$ は連続型離散型確率変数になります。

正 $g(X)$ は連続型確率変数になります。

p.119 定理 4.1 の分散を求める式の下から 2 行目 (2006/10/25)

誤

$$= a \int (x - E(X))^2 f(x) dx$$

正

$$= a^2 \int (x - E(X))^2 f(x) dx$$

p.130 下から 2 行目 (2006/10/25)

誤

$$-9.9 \times e^{-17}$$

正

$$-9.9 \times 10^{-17}$$

p.134 上から 7 行目 (2006/11/20)

誤

$$\frac{49}{4} \approx 12.25$$

正

$$\frac{49}{4} = 12.25$$

p.159 下から 3 行目 (2006/11/20)

誤

$$f(x) = \lambda e^{-\lambda X}$$

正

$$f(x) = \lambda e^{-\lambda x}$$

p.159 図 4.76 の中の式 (2006/11/20)

誤

$$y = e^x$$

正

$$y = e^{-x}$$

p.160 下から 5 行目 (2006/11/20)

誤

$$E = \frac{1}{\lambda}$$

正

$$E(X) = \frac{1}{\lambda}$$

p.160 下から 3 行目 (2006/11/20)

誤

$$V(E) = E(X^2) - (E(X))^2$$

正

$$V(X) = E(X^2) - (E(X))^2$$

p.160 下から 1 行目

誤

$$= \left(\frac{1}{\lambda}\right) \int_0^{\infty} y^2 \lambda e^{-y} dy - \left(\frac{1}{\lambda}\right)^2$$

正

$$= \left(\frac{1}{\lambda}\right) \int_0^{\infty} y^2 e^{-y} dy - \left(\frac{1}{\lambda}\right)^2$$

p.164 1 行目および図 4.81 の計算式 (2006/11/20)

誤

$$=\text{COUNTIF}(A1:J500, ">3")/5000$$

正

$$=\text{COUNTIF}(A1:J500, ">=3")/5000$$